

交野市教委ニュース

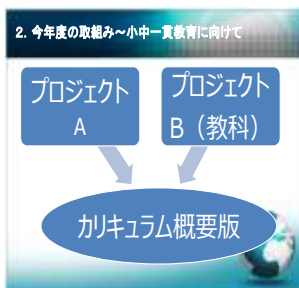
第69号 (平成29年8月4日発行)

交野市小中一貫教育フォーラムを開催しました

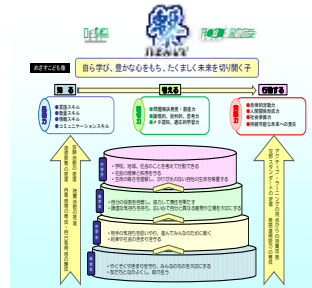
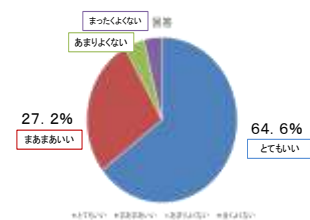
小中連携教育から小中一貫教育への円滑な導入と推進を図り今後の交野市の教育について考える機会とするため、平成29年8月1日(火)、ゆうゆうセンターにおいて「交野市小中一貫教育フォーラム」を開催しました。教職員、保護者、地域の方等多くの参加者がありました。子ども達は夏休みですが、校務等ある中、多くの教職員が積極的に参加しました。保護者や地域の方は、平日の出にくい時間帯の開催にもかかわらず、昨年12月の研修会よりさらに多くの参加をいただきました。

フォーラム後のアンケートにはさまざまな意見がありました。第I部で第一中学校区(交野が原学園)の発表の結びの言葉、「いま目の前にいる子ども達がすばらしい大人、社会の一員として笑顔あふれる人生を歩んでいますように」。この言葉は、教職員、保護者、地域の方、皆さんの思いだと感じています。交野の教育が一層充実したものになるよう、これからも取り組みを進めてまいります。

【第I部】 市教委、各中学校区からの発表でした(多目的ホール)



1. 小学校6年生が、中学校の授業を体験したり、見学したりすることについて、どう思いますか？



四中校区(天の川学園)の
小中一貫に向けた取り組み

- 生徒間の交流
 - ◇校区小学校6年生の交流会
 - ◇児童会・生徒会の交流
 - ・あいさつ運動
 - ・地域清掃
 - ◇小6体験授業
 - ◇小6クラブ見学

中学校の日

【第II部】 21世紀型教育機構 理事 香里ヌヴェール学院 学院長 石川 一郎 先生による講演 「平成32年(2020年)に向けて～変化する時代、入試も学校も変わる～」(交流ホール)



平成32年の大学入試制度改革、変わるのは入試だけではなく、「知識の習得」を中心とする学習スタイルから「知識の活用」をめざすスタイルに転換する。そのことから、「正解のない『問い』に取り組む必要性」をお話くださいました。AIができるもの、人間にしかできないもの、これからの社会が求める力をどのようにして子どもたちに育ていけばいいのか、そのためには普段から何をすればいいのか、質疑の際にもありましたが、学校だけではなく家庭でも考えさせられる課題でした。

【第III部】 京都産業大学 学生部長 現代社会学部教授 西川 信廣 先生による講演 「小中一貫教育の意義と可能性 ～小中一貫教育新制度を視野に～」(交流ホール)



「小中一貫教育を提言してきた立場」からお話いただきました。国レベルでは小中一貫教育はセカンドステージに入っており、小中一貫教育の先進事例の紹介等、交野市の小中一貫教育の取り組みへの提言をいただきました。イベントとなる一過性のことを行っても小中一貫教育ではない、とのご指摘もありました。交野の教職員が、一つひとつの取り組みを通して、小中の連携を深め一貫教育につなげようとしている努力を、市教委として大きなものにつながるよう支援をしてまいります。